

岡崎市シビックコア地区交流拠点整備事業の優先交渉権者の決定について（速報）

岡崎駅東口で進めている岡崎市シビックコア地区交流拠点整備事業予定者（優先交渉権者）が決定しました。

予定者に決定したのは、アイ・ケイ・ケイ株式会社（佐賀県伊万里市）と蔦井株式会社（名古屋市西区）で構成される岡崎交流拠点整備事業グループ。

宿泊機能、オープンキッチン付きコンベンションホールを中心にカフェやギャラリーを有する施設と2階建て屋内駐輪場を整備し、併設される都市公園と事業者用地を一体的に活用したイベントスペースを設けるという提案です。

他に1グループの計2グループから応募がありましたが、岡崎交流拠点整備事業グループが提案した、西三河地方で初となる本格的なオーベルジュ（宿泊機能付きレストラン）や華やかで開放感のあるイベントスペースの設置が、周辺の主要駅にはない独創的な空間で来訪者を引付ける魅力があると評価されました。

本事業は、本市では初となる事業用定期借地権を設定した公有地活用事業で、岡崎駅前の交流拠点用地を民間事業者に出し、民間事業者が自ら施設を整備及び運営することで岡崎駅周辺に不足している「賑わい」の創出を図るものです。

今後は、議会の議決後に契約を締結し、早ければ平成29年冬頃開業の予定で進められるものとしています。

なお、主要鉄道駅周辺拠点整備事業者選定審査委員会における審査講評につきましては、後日、公表する予定です。

